

令和4年度 指定管理者モニタリング票

所管課名 文化スポーツ観光交流部 文化振興課
 電話番号 0835(25)2551

1 施設の概要

施設名称	山頭火ふるさと館
設置目的	郷土出身の俳人種田山頭火を顕彰するとともに、種田山頭火及び関連する人物に関する資料の収集、保管及び展示を行い、その調査及び研究に資し、もって市民の教養、文化の向上及び地域の振興に寄与するため、山頭火ふるさと館を設置する。

2 指定管理者の概要

指定管理者	名称	一般社団法人 防府観光コンベンション協会
	代表者	会長 中谷 泰
	所在地	防府市松崎町11番19号
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日（5年間）	
選定方法	公募	
(非公募の理由)		
利用料金制の有無	無	

3 指定管理業務の運営状況

業務内容 (具体的に)	(1) 資料の収集、保管及び展示に関すること (2) 資料に関する調査及び研究に関すること (3) 地元の文化人等の顕彰に関すること (4) ふるさと館の施設の使用に関すること (5) 交流室の使用の許可に関すること (6) ふるさと館の施設等の維持管理に関すること					
組織体制	館長 1人、館長代理 1人、係員 4人 合計 6人					
労務環境	雇用や労働条件等については、労働関係法令が順守されている。					
利用状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①来館者数（単位：人）						
	目標値	50,000	50,000	—	—	—
	実績値	21,163	21,365	—	—	—
	分析	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、特別企画展の開催等に取り組み、前年よりも増加している。				
②						
	目標値					
	実績値					
	分析					

4 指定管理者の業務に係る収支状況

①指定管理業務に係る収支					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指定管理料	29,600,000	29,600,000	—	—	—
利用料金	0	0	—	—	—
その他	60,540	3,604,027	—	—	—
収入計(a)	29,660,540	33,204,027	—	—	—
人件費	12,562,090	12,693,068	—	—	—
光熱水費	2,852,306	3,897,240	—	—	—
修繕費	410,351	393,580	—	—	—
その他	11,998,136	15,606,737	—	—	—
支出計(b)	27,822,883	32,590,625	—	—	—
収支(a-b)	1,837,657	613,402	—	—	—
分析	特別企画展開催に伴い、収入では補助金分が、支出では委託料分が増額となっている。また、光熱水費高騰の影響もあり、収支は黒字ではあるものの昨年より減少した。				
②自主事業に係る収支					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計(c)	932,251	1,034,083	—	—	—
支出計(d)	581,491	617,814	—	—	—
収支(c-d)	350,760	416,269	—	—	—
主な内容	ミュージアムショップの運営				

5 利用者満足度

調査概要	実施方法	観覧者にアンケート用紙を配布。アンケートボックスを設置。
	時期	令和4年4月～令和5年3月
	回収率	1.26%
	満足度の割合	常設展：98%、企画展：99%
対応状況	意見・要望について職員間で共有し、それらをもとに積極的に改善に取り組んでいる。	

6 評価

指定管理者による自己評価	<p>種田山頭火生誕140年及び山頭火ふるさと館開館5周年という節目の年を迎えたことから、初めての開催となる有料の特別企画展や記念講演会・句会、山頭火ふるさとまつりをはじめ、数々の特色ある取組を実施し、盛会裏に終えることができた。このような取組の成果もあって、昨年11月9日、開館以降の入館者が10万人を超え、記念セシモニーを開催することができ、この5年間を総括するにふさわしい充実した年になった。年間の来館者数も21,365人に達し、開館以降2番目に多い来館者数であった。</p> <p>今後も格調ある文学館としての企画・運営にさらに創意工夫を凝らし、来館者のニーズに応じた取組を展開していきたいと考える。</p>
市の評価	<p>特別企画展の開催や関連イベント等の様々な企画の実施により、昨年よりも入館者数は増加し、さらに累計入館者数10万人を達成しており高く評価できる。</p> <p>自主事業についても、ミュージアムショップの売上高は昨年と比較して約10%アップし、収支も黒字となっており経営努力の成果が認められる。</p> <p>引き続き、施設来館者数の増加に向けた事業展開を期待する。</p>